

県岳連理事会報告

報告者 前川文雄

期日：令和2年4月16日（木）19：00～20：00

場所：シーハット大村コミセン 2F 第4会議室

出席：（会長）古川、（理事長）前川、（事務局長）増田、（指導委員長）馬場、（競技委員長）松崎、
（遭対委員長）渡邊、（自然保護委員長）藤田、（国際委員長）古川、（ジュニア委員長）小畑
理事：（長崎）田代（代）、（商短）前川、（学士会）智多、（佐世保）古川（代）、（諫早）藤田、
（大村）渡邊、（島原）上野、（東彼）石丸、（高体連）小畑、（長山会）泉

欠席：理事：（登高会）小宮、（監事）峰、松本

議事

- 1 令和元年度事業実績報告は、事務局（案）を承認した。
- 2 令和元年度決算報告は、事務局（案）の一部表記を訂正して承認した。
- 3 会計監査報告は、監事が欠席のため所属会の理事が監査報告書を読み上げた。
- 4 新年度役員は、理事の一人を修正して承認した。任期は令和2年度から3年度の2年間となる。
- 5 令和2年度事業計画(案)は、コロナウイルスの影響により一部事業を中止して承認した。
- 6 令和2年度予算(案)は、事務局（案）を承認した、
- 7 規約、規程、基準の変更は、連盟の名称変更に伴う規約の改正を承認した。令和2年4月1日から施行する。
- 8 各委員会からの報告、連絡等
 - ①競技委員会
 - ・強化費の監査を監事が行うこととし、9月の理事会で監査報告書を行う。
 - ・JMSCA から要請のあった選手強化に携わる県岳連の代表コーチを松崎指導委員長に決定。なお、九州ブロック代表コーチは佐賀県の樋口コーチを予定している。
 - ②指導委員会及び遭難対策委員会
 - ・令和2年度に福岡県で開催される山岳指導員養成講習会・検定会に会員の参加を予定している。
 - ・指導委員会、遭対委員会及びレスキュー研究会合同会議及びレスキュー研究会の開催日程が示された。
 - ・緊急連絡網を整理した。
 - ・3月から4月に発生した山岳遭難、事故発生等の報告があった。遭難があった場合に地元山岳会へ道案内などの協力要請があるため、加盟団体会員の技術習得及び有事への備えを図る必要があり、レスキュー合同研修会の参加者を会員全員へ拡大する。
 - ③自然保護委員会
 - ・加盟団体においては6月の全国環境月間行事として県内山域において清掃登山を行っていただきたい。なお、4月4日に横峰越付近に20m程のロープを設置した。
 - ④ジュニア委員会
 - ・コロナウイルス対策のため高体連九州大会は中止決定、インターハイは調整中。
 - ・県高総体の開催可否判断は県高体連が行う。開催決定でも、タイムレースをしない、一定の距離を確保した隊行動を行う、審査は顧問で行う、開・閉会式は屋外で行うなど、感染拡大防止を図った運営を行う。なお、群馬県及び岩手県の高総体は中止となった。
 - ・中止の場合は、高総体申し込みをした学校で、新人戦の総合結果順に判断する。
 - ・北陽台高校、大村工業高校、大村高校とも新入生の入部があり、部員数が増加した。但し、大村

工業の入部者は女子のみ。

- 9 九州山岳協会総会報告等は、コロナウイルス対策のため各県集まったの総会は中止した。必要な議決はメールによる電子決議を行う。なお、ブロック大会のスタート順の抽選は終わっており、事務局の熊本県から連絡がある。
- 10 令和2年度登山大会は、大村山岳会が主管予定であったが3密を回避するため中止し、令和3年度に実施する。これにより当番県は順次繰り下がる。
- 11 令和2年度県民体育大会は、11月14日・15日に実施予定。総務委員長は佐世保山岳会（佐々木）とし、各会は電話又はメールにより総務委員の推薦をお願いする。6月27日に大村で総務委員会を実施する。
- 12 その他は、岳連の名称変更に伴い、岳連旗を2枚作成する。（高体連及び国体用）
- 13 事務連絡等
 - ・新名称で口座を開設した。会費の振り込みは新口座へ。但し、旧口座も当分の間解約しない。
 - ・次回理事会は、9月に開催予定。